

プログラム一覧

緑色・平成16年度 朱色・平成17年度 桃色・平成18年度
紫色・平成19年度 黄色・平成20年度 青色・平成21年度

1 森・山・里山・社寺林をフィールドとしたプログラム・・・21

動物たちのかくれんぼ・・・森—1・2
ミラクルはっぱで遊ぼう・・・森—3・4
えだ枝ツンツン葉っぱ・・・森—5・6
こんなゴミをみつけよう・・・森—7・8
くものすゲーム・・・森—9・10
さわってごらん、木の声が聞こえるよ！・・・森—11・12
はじめての冒険・・・森—13・14

森の中でみつけた！・・・森—15・16
プレゼントを探しに行こう！・・・森—17・18
ふわふわ、さくさく、木～もちいい・・・森—19・20
あきのとおりみち・・・森—21・22
ひとにぎりの粘土・・・森—23・24
“ナッチュのはやし”はみんなのワンダーランド・・・森—25・26・27

さがしてみよう！集めてみよう！作ってみよう！・・・森—29・30
木となかよし・・・森—31・32
耳すまそう、探してみよう！！・・・森—33・34
竹やぶ大冒険！・・・森—35・36

段々畑のおくりもの・・・森—37・38
つなげてつなげて 円^{えん}ダフル！！・・・森—39・40
見て 触って 探して あそぼう！！・・・森—41・42
みんなでスクラッ木！！・・・森—43・44
このふわふわなんだろう？・・・森—45・46
ぼくもわたしも、みんなもぐら！・・・森—47・48

きいてみよう 森の声・・・森—49・50
森の妖精の贈り物を探そう・・・森—51・52

森のうんどう会・・・森—53・54
はっぱでハッピーをつくろう・・・森—55・56
葉っぱであそぼう！・・・森—57・58
森の中で忍者になろう！・・・森—59・60
森へのプレゼントを作ろう・・・森—61・62
木とあそぼう！・・・森—63・64

2 川・湖・池をフィールドとしたプログラム・・・・・・・・・・ 37

ゴールに向かってプカプカリン	川— 1・2
さかなに変身	川— 3・4
宝石さがし	川— 5・6
川の大工さん	川— 7・8
突撃！となりのヒミツの部屋	川— 9・10
見て・さわって・不思議体験	川—11・12
プカプカ・サラサラ・ザーッ！	川—13・14
みずべのいきもの なにがいる？	川—15・16
おしゃれなカモ（水鳥）さん	川—17・18
そーっと すりすりしてごらん！	川—19・20
ぼくとわたしのごちそうをつくろう	川—21・22

3 田畑・野原・園庭・公園をフィールドとしたプログラム・・ 45

土っておもしろいな	田— 1・2
冬でも田んぼ（休耕田）は生きている	田— 3・4
におってさわってなんでしょう？！	田— 5・6
なぁににタッチ？	田— 7・8
見てみよう！雪の結晶	田— 9・10
コスモスの宝物	田—11・12
かおりの森へ行こう！！	田—13・14
どこからくるの？びわこの水	田—15・16
どんぐりころころ	田—17・18
落ち葉のファッションショー	田—19・20
みんな集まれ ハッピークリスマス	田—21・22
みんな生きているんだ	田—23・24
にげろバッタ、秋の草まで	田—25・26
田んぼの虫になりきろう	田—27・28
田んぼで電車ごっこ	田—29・30
みんなで わら笑 うんどうかい！！	田—31・32
みい～つけた冬の自然	田—33・34
園庭の宝石探し	田—35・36
はっぱのいろいろさがし	田—37・38
草むらのヒーロー ～くずってすごい～	田—39・40
むしのうんどうかい	田—41・42
虫さんのステキなお家をつくろう	田—43・44
勝って 集めて ハッピー	田—45・46
秋をさがそう！	田—47・48
モリモリ森のうんどうかい	田—49・50

4 自然体験施設をフィールドとしたプログラム・・・・・・・・・・ 57

魔法のめがねで遊ぼう・・・・・・・・・・施設—1・2

オータムビンゴ・・・・・・・・・・施設—3・4

森のジャンケン・・・・・・・・・・施設—5・6

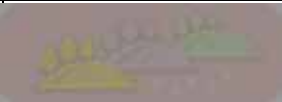
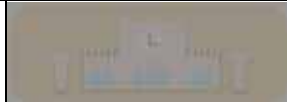
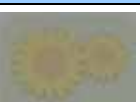
5 お役立ちアイテム・プログラムアレンジ技法・・・・・・・・・・ 64

「な～んだ？袋（ボックス）」のアレンジ・・・・・・・・・・ 64 - 2

「オータムビンゴ」のアレンジ～自然物ビンゴ～・・・・・・・・・・ 64 - 3

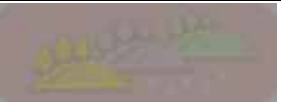
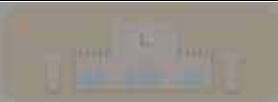
【実施時間について】

プログラムの実施時間は基本的には30分で考えていますが、各園の子どもたちの様子や環境、時期によって、プログラムの時間は工夫してください。

プログラム名		森のうんどう会							
対象年齢		年中・年長（４～６歳）							
ねらい	メッセージ	遊びを通じて自然を体感しよう							
	発見・体験 できること	・地面や木の感触 ・葉っぱや枝を踏んだ時の足の感触・音							
参加者のめやす		幼児 ５０人 / 支援者 ６人							
実施時間		３０分							
フィールド									
	森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園			
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時 間	活 動				●配慮・アドバイス アレンジ				
準備					●事前に５グループに分けておきましょう。 （４，５歳児合同） ●森の中までグループで歩いて行きます。 ●目的地に行く道中で、山の中にいる動物などを意識できるように話しておくといいでしょう。 ●園庭と森の違いなどについて話し合うようにしましょう。				
５分	導入 ・目で見たり、音を聞いたりして足元に葉っぱや木の実、枝があることに気づく				●前もって地面にロープで円をつくり、真ん中に玉入れ用の箱をおいて準備しておきましょう。 ●各グループ一人ずつ補助に付いて援助しましょう。				
１０分	葉っぱの玉入れ ・５グループに分かれて、みんなで２回行う				●結果は虫あみに入れて葉っぱの量を見せましょう。 ●２度目のロープの円はそのまま、真ん中の箱を小さくするなど工夫しましょう。 簡単に玉が箱に入って終了する場合は、支援者が箱を頭の上に乘せて高くするのも良いでしょう。 ●玉入れの後、子どもたちが投げ入れた自然物は、土になることなどを気づけるように話をしましょう。				
									

時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
10分	なりきりゲーム ・2～3チームに分かれる ・支援者のかけ声で動物などになりきって変身する ▼イノシシ→木に抱きついて木になりきる  ▼雨→カエルになって地面をジャンプする  ▼クマ→葉っぱを頭に置いて地面になりきる 	●なりきりゲームに向けて、森にいる動物の話をしましょう。 ●見本を支援者たちで見せましょう。 ＜なりきりゲーム＞の遊び方 支援者の「きーたぞきたぞ」に続いて、子どもたちが「なーにがきたの」を2回繰り返した後に支援者が「イノシシ」「雨」「クマ」の中から一つを言って子どもたちになりきってもらいます。 なりきると子どもたちが変身して見えなくなるゲームです。 ●走りにくかった足の感覚や、手で地面や木を触った感触を感じられたことを子どもと共に気づけるように話をすると良いでしょう。 
5分	まとめ いつもの生活の場と足の感触などが違うことに気づく	●なりきりゲームの後、子ども達が園庭と自然の森の違いに気づけるように話しをしましょう。
【異年齢への対応】 年少：葉っぱの玉入れの箱は、地面に置くほうが良いでしょう。（円は1m50cm位） ：なりきりゲームはむづかしいので、変身する動物を言って変身させて、自然物にふれるようにしましょう。 年中：		
【園や家庭に帰ってから】 園では遊具などに触れることや地面に落ちている物を拾うことで、動物に変身出来るようにしてみましょう。また、触れた物や拾った物について考えさせると良いでしょう。		
準備物・教材等	・ロープ5本 ・虫あみ5本 ・箱5個	



プログラム名		はっぱでハッピーを作ろう！！							
対象年齢		年中・年長（４～６歳）							
ねらい	メッセージ	自然物にはいろいろな感触、におい、形があることに気づこう。							
	発見・体験できること	・自然物のいろんな感触、におい、形。							
参加者のめやす		幼児 ５０ 人 / 支援者 ６ 人							
実施時間		３０ 分							
フィールド									
	森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園			
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時 間	活 動			●配慮・アドバイス アレンジ					
５分	集合（導入） ・つるつる ・ざらざら ・ごつごつ ・ふわふわ ・とげとげ			●「つるつる」「ざらざら」などを聞いて、日常のものなどからイメージするものを子どもたちから引き出してみましょう。					
１０分	自然物を貼り付けて衣装をつくる ・グループごとに指定された異なる感触の自然物を探しながら、支援者が着ているポリ袋の衣装に探した自然物を、子どもたちが飾り付けをして貼り付けます。			●各グループの支援者がポリ袋の衣装を着て、指定された異なる感触の自然物を探しながらかざりつけすることを促しましょう。  					
５分	各グループの作品を発表する 			●各グループの支援者も一緒に、特徴などを発表して他のグループの衣装がどんなものか知らせましょう。  					

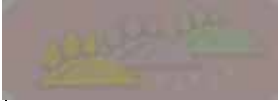
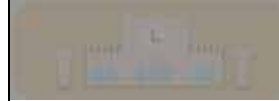
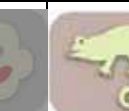
時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
5 分	他グループの作品の感触などを楽しむ 	●全員が手をつないで一つの円を作った後、円の中をそれぞれの支援者が歩いてまわり目の前を通った時に、にこやかさや違った感触の違いがあることを気づくように声かけをすると良いでしょう。 
5 分	まとめ	●子どもたちのつぶやきに共感しながら、自然物にはさまざまな感触があることを伝えましょう。
【異年齢への対応】 年少：「つるつる」「ざらざら」などは難しいので、集めておいて感触だけを楽しませましょう。 ：一人一人で葉っぱ（異なる感触の自然物）などを貼ってハッピーをつくってみましょう。 年中：		
【園や家庭に帰ってから】 葉っぱやこすり絵などで、「つるつる」「ざらざら」などの違いを観察してみましょう。 自然物で動物づくりなどをして遊んでみましょう。 公園などで、感触を味わいながら自然物を探してみましょう。 家の中で「つるつる」「ざらざら」などを探して、自然物との違いを比べてみましょう。		
準備物・ 教材等	・ポリ袋（５枚） ・両面テープ ・セロテープ	



プログラム名		葉っぱであそぼう！							
対象年齢		年中・年長（４～６歳）							
ねらい	メッセージ	秋の色を感じよう！							
	発見・体験 できること	・葉っぱの色の違いを見つける。 ・落ち葉の感触を知り、親しみを持つ。							
参加者のめやす		幼児 ５０ 人 / 支援者 ５ 人							
実施時間		３０ 分							
フィールド									
	森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園			
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時 間	活 動				●配慮・アドバイス アレンジ				
6 分	葉っぱを集めて、山をつくる ・各グループでつくる 				●１グループに支援者が一人ずつ付きましょう。 ●石や木の枝等の危ないものは、避けるように前もって約束事をしておくと良いでしょう。				
6 分	色探しゲーム ・つくった山の中から、指定された色の葉っぱを探す 				●子どもたちで色の認識をしてから、支援者が指定した色を見つけるように伝えましょう。 ●色がわかりにくい子には、支援者がそばにつき援助していくと良いでしょう。				
1 5 分	メダルづくり ・気に入った葉っぱを一人一枚ずつ見つける ・見つけた葉っぱを台紙に貼る				●気に入った葉っぱでメダルをつくることを伝え、一人一枚だけ探すように知らせましょう。 ●子どもが見つけてきた葉っぱを支援者がテープで台紙に貼りましょう（台紙は予め作っておきます）。				

時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
3分	天候が晴れの場合 葉っぱかぶりゲーム ・友だち同士や自分に葉っぱを かけあう 	●つくったメダルの見せ合いをしながら喜びを味わえるようにすると良いでしょう。  ●支援者も共に楽しみながら、葉っぱの感触や色の違いを全身で感じられるように声かけなどをしていきましょう。 ●嫌がる子どもには無理強いせず、触れたり・見たりできるように声かけをしていくと良いでしょう。
【異年齢への対応】 年少：葉っぱなどの自然物を何枚でも貼って、メダルづくりを楽しませてみましょう。 ：色の認識が難しいので、色の認識から始めると良いでしょう。 ：葉っぱなどの自然物に対する抵抗感を無くすために、葉っぱの山づくり・葉っぱの布団・葉っぱの掛け布団・葉っぱかぶりと順番に進めていくほうが良いでしょう。 ：ビニールのプールに葉っぱを入れて遊ばせてみましょう。 年中： 【園や家庭に帰ってから】 園ではメダルづくりの続きに色や飾り・星などをつけてアレンジして楽しんでみましょう。 園では白い紙の上で、色比べなどをして遊びましょう。 家庭では新聞紙などを使って、葉っぱかぶりゲームをしてみましょう。 家庭での色探しゲームは、テーマの色を探して次の日に発表するなどして楽しみましょう。		
準備物・ 教材等	・メダルづくりの台紙（事前に人数分用意） ・両面テープ（台紙に貼っておく） ・セロハンテープ（両面テープで貼れない物用）	



プログラム名		森の中で忍者になろう！！										
対象年齢		年中・年長（４～６歳）										
ねらい	メッセージ	木や葉と共に生きていることを感じ自然を大切にする。										
	発見・体験 できること	・木や葉の感触、においを体験する。										
参加者のめやす		幼児 ３０人 / 支援者 ３人										
実施時間		３０分										
フィールド												
	森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園						
実施可能時期												
自然を感じる ためのヒント												
時 間	活 動				●配慮・アドバイス アレンジ							
5 分	忍者からの巻物の話を聞く （内容・約束など）  				●支援者は事前にふるしきで覆面をしておきましょう。 ●ゲームに興味をもてるように、話をしましょう。 ●事前に約束ごとを伝え、安全にゲームができるように配慮をしましょう。 ・遠くに行かないようにしましょう。 ・笛の音が鳴ったら支援者の所へ戻りましょう。 ・友だちと仲良く遊びましょう。							
10 分	忍者の修行をする ・「忍び足の術」森の中で音を立てないで歩く ・「ゴロゴロの術」森の中に寝ころび転がる ・「木隠れの術」木になりきる 				●支援者もゲームを楽しみ、自然物に触れるおもしろさを伝えましょう。 ●自然物に触れる事に抵抗のある子どもには、その気持ちを受け止めて援助しましょう。 ●子どもたちの「つぶやき」を大切にして発見できた喜びに共感すると良いでしょう。 その他の色々な術 ・「ウサギの術」ぴょんぴょん跳ねる ・「なりきりの術」色々なものなどに変身する ・「葉っぱ投げの術」葉っぱを手裏剣にして投げる ・「雨降らしの術」葉っぱを上へ投げる ・「モミモミの術」葉っぱをもんで粉にする など							



時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
2 分	支援者の所に集まる	● 笛を鳴らして集まることを知らせ、話が聞けるように言葉がけをしましょう ● 子どもたちの楽しかった思いを受け止めましょう。
5 分	好きな動物や虫に変身して宝物を探す ・「変身の術」葉っぱや木のにおいをかぐ	● 支援者も変身し、なりきって遊べるように呼びかけましょう。 
5 分	ハチマキに自然物の宝物を貼ってもらう  	● 自然物の宝物を見つけた喜びに共感し、達成感を感じられるような言葉がけをすると良いでしょう。 ● 大きな宝物が貼れるように、セロハンテープも用意しておきましょう。 ● まだゲームを続けたいという子どもたちの思いを受け止めながら、気持ちを落ち着かせましょう。
3 分	支援者の話を聞く	● 今日の「ふりかえり」をし、次のゲームにも期待が持てるような言葉がけをすると良いでしょう。

【異年齢への対応】

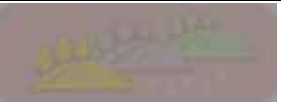
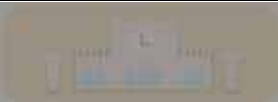
年少：忍者を理解することができないので、導入に忍者などの絵本を読んで見本を見せましょう。
 ：「忍び足の術」と「木の葉隠れの術」（落ち葉に隠れる）は、3歳児には抵抗がないので2つに絞ったゲームにしてみましょう。
 ：忍者の巻物の内容を簡単にしてゲームをしてみましょう。
 ：何度も繰り返して遊ぶのも良いでしょう。
 ：ハチマキに貼る自然物は1つにして、探した物は腰につけた袋に入れて持ち帰りましょう。

【園や家庭に帰ってから】

園庭の葉のにおいをかぐ事や葉の手触りを楽しみ探した自然物の宝物はハチマキに貼りましょう。
 園庭を修行サーキットコースにして遊びましょう。
 （築山のぼり・葉っぱ手裏剣・木に抱きつく・地面や芝生でゴロゴロの術など）
 家の周りの葉っぱのにおいをかぐ事や手触りを楽しむ様にして自然に親しみましょう。
 家庭では「片づけの術」などで、子どもに「お片づけ」をしてもらうのも良いでしょう。

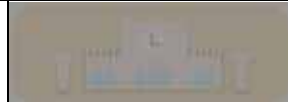
準備物・教材等	・ 笛 ・ 巻物（事前に用意をします） ・ 画用紙で作ったハチマキ（赤・黄・青） ・ 両面テープ（ハチマキの正面に貼る） ・ ふろしき（ふく面用3枚） ・ セロハンテープ
---------	---



プログラム名		森へのプレゼントを作ろう							
対象年齢		年中・年長（４～６歳）							
ねらい	メッセージ	いろいろな感覚を使って森の自然を感じる。							
	発見・体験 できること	・見たり、さがしたりすることの楽しさ。 ・いろいろな音・におい。							
参加者のめやす		幼児 ３０ 人 / 支援者 ８ 人							
実施時間		３０分							
フィールド									
	森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園			
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時 間	活 動			●配慮・アドバイス アレンジ					
５分	グループ分け ・４歳児—４グループ ・５歳児—４グループ 遊びの説明  ▲フィールドビンゴカード			●グループ分けをしましょう。 ●カード（フィールドビンゴ）を見て探す自然物の説明をしましょう。 ●約束を伝えましょう。 ・グループみんなで探しましょう。 ・１つ見つけたらグループの支援者に見せて、カードにシールを貼ってもらいましょう。 ・川の所へは行かないようにしましょう。 ●カード（グループに１枚）を配布しましょう。 ●カードを持つ人を決めましょう（じゃんけん） ●ビニール袋（１人１枚）の配布をしましょう。					
１５分	フィールドビンゴあそび ＜カードに描いた物＞ (1)木の実 (2)どんぐり (3)動くもの (4)森で生まれない物 (5)森の赤ちゃん (6)変身したはっぱ			●安全に活動できるように支援者が見守りましょう。 ●グループ全員で動けるように必要に応じて声かけをすると良いでしょう。 ●見つけて来た自然物を確認してビンゴカードにシールを貼ってあげましょう。 					

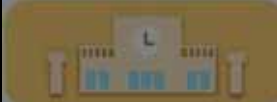
時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
10分	集合する ・感じたことを話し合う ・集めてきた物を全員で見る  森へのプレゼント ・見つけた自然物を使って森へのプレゼントをする 	●感じたことを聞くことにより、子どもたちそれぞれの思いに共感すると良いでしょう。 ●森で生まれない物などについて、子どもたちと話し合い「ふりかえり」をしましょう。 (ゴミなどについて) 
【異年齢への対応】 年少：葉っぱの下に隠れている自然物（どんぐり・カエル・小さな枝・いいにおいのする物など）を探してみましょう。 年中：		
【園や家庭に帰ってから】 園庭でビンゴカード（きれいな石・飛び跳ねる物：カエルやバッタなど・一番背の高い木・音が鳴る物・暖かいもの・臭いのする葉っぱなど）をつくって探してみましょう。 家庭では親子で一緒にビンゴカードをつくって遊びましょう。		
準備物・教材等	・フィールドビンゴカード（8枚） ・カードに貼るシール（8グループ×6枚） ・カードに付けるヒモ（8本） ・ビニールのゴミ袋（34枚：幼児人数分）	



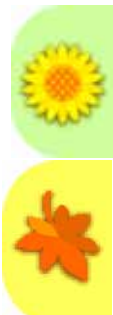
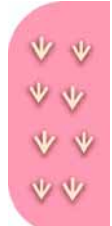
プログラム名		木とあそぼう！							
対象年齢		年中・年長（４～６歳）							
ねらい	メッセージ	木も僕たちも支えあって生きている							
	発見・体験 できること	・木の大きさの違いや、感触、においなどに気づく							
参加者のめやす		幼児 ３０ 人 / 支援者 ２～３ 人							
実施時間		３０ 分							
フィールド									
	森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園			
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
									
時 間	活 動				●配慮・アドバイス アレンジ				
５分	「きつつき」になって森を見る ・「きつつきさん」のおひっこし の遊び方を聞く				●ビニールひも（赤・青・黄 各２本）を事前に木にくくっておきましょう。 ●木には細い太いがあることに気づかせ、興味を持たせるようにしましょう。 ●遊び方を伝え、遊びへの期待を持たせると良いでしょう。				
１０分	「きつつきさん」のおひっこし遊びをする ・木の感触などを楽しむ さわる たたく におぐ 音を聞く 抱きつく ・１回練習、３回ぐらいゲーム				●ゲームの中で木の感触やにおいなどを体感できるように、木と触れ合う活動を取り入れましょう。 ●子どもの発見・つぶやき・おどろきなどに共感し、他の子どもたちにも知らせると良いでしょう。				
３分	モリモリマン発見 ・インタビューと紹介 				  ●ゲームの途中にモリモリマンを見つけることで遊びを盛り上げ、自然の森がより身近なものに感じられるようにしましょう。				

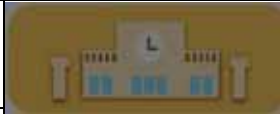
時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
7分	モリモリマンと遊ぼう！ ・かくれんぼをする ・お助けマン登場 ・オニ：モリモリマンとお助けマン ・子どもたちは木のかげなどに隠れる  ・見つかった子は、指定の所へ集まって手をつなぐ	●園庭でしているかくれんぼを、自然の森でやることにより違いを感じられるようにしましょう。  ●かくれる場所を見つけて、太い木にはかくれられるが細い木にはかくれられない事など、木の大きさ・太さの違いを感じられるようにしましょう。 ●木と友だちになって上手にかくれられたことを認め、満足感を持たせるように一人ひとりに声かけをしていきましょう。 ●見つかった子どもから指定の所に集まって行くことで、最後までゲームに興味を持って取り組めるようにしましょう。
2分	全員が手をつないで、輪になる	●みんなが手をつないでいくことで、たくさんの木が囲めた驚きや喜びを感じられるようにしましょう。
3分	手をつないで上を見上げる ・森の木が助けあっている事に気づく	
【異年齢への対応】 年少：「きつつき」のお面をつけてなりきりで（飛んでみよう・お家を見つけよう・誰かちゃんのお家にお引っ越ししようなど）してみましょう。 ：「モリモリマン」と「きつつき」の鬼ごっこ（石・枝を取り除いて場所を限定）にしてみましょう。 年中：		
【園や家庭に帰ってから】 園庭で木や遊具などを使って、木の違いや感触・温かさ・冷たさなどに気づかせましょう。 家庭で「かくれんぼ」をして、家具や壁などに触れて自然物との感触の違いに気づかせましょう。		
準備物・教材等	・ビニールのひも（赤・青・黄 各2本） ・モリモリマンの衣装（お面・マント） ・お助けマンの衣装（お面・マント 各人数分）	



プログラム名		草むらのヒーロー　　～くずってすごい～							
対象年齢		年長（５～６歳）							
ねらい	メッセージ	五感を通じて植物に親しもう。身近な野原にも面白い植物があり、みんなで遊ぶことができることに気付こう							
	発見・体験できること	・五感を通して植物とふれあう ・身近な自然物で遊ぶ楽しさ							
参加者のめやす		幼児　　２０　　人　　/　　支援者　　４　　人							
実施時間		３０分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時　　間		活　　動				●配慮・アドバイス　　アレンジ			
準備		袋の中にくずを入れておく				●事前にくずのつるを適当な長さ（１～２本）に切り、袋に入れておきます。 ●話が聞けるようにグループごとに並びます。 ●子ども達がわくわくドキドキする思いを持ちながら、袋の中の植物を触るよう、支援者は話を盛り上げていきます。 ●子ども達の発見や思いを受け止め、グループの友達に伝えていきます。			
３分		グループで集まり全体で話を聞く							
５分		中身が見えない袋の口から、手で触ったりにおいをかいだりして、中身が何であるかを考える							
									
		にあって、さわって、何でしょう							
７分		袋の中身と同じものを見つけに行く 一番長いものを探そう				●つるが切れないように気をつけて、長いものを探します。 ●つるは土の所からでていることに気づかせるように、各グループに支援者が見守ったり、アドバイスしたりします。 ●他の植物と同じように、土から伸び、水を吸ってどんどん伸びていく植物であることを伝えます。 ●いろんな長さのつるがあることを視覚をとおして知らせていきます。			
									
		長さ比べをする							

時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
7分	くずのつるを使って、どんなことをして遊びたいか、グループで考える グループごとに決めた遊びをする 	●子ども達の思いを、各グループの支援者が見守りながら、時にはアドバイスをしていき、グループで遊びを一つ決めていきます。 ●遊びが盛り上がるよう、支援者も一緒に楽しめます。 ●危険な行動が見られたときには、その都度注意をします。 ●いろいろな遊びがあることを伝え、「また遊びたいな」という思いが持てるようにします。
5分	それぞれのグループの遊びを紹介する 	
3分	葛湯を飲む	●遊んだくずの根っこが食べたり飲んだりできることを知らせ、人の生活との関わりを考えます。 ●くずのつるを園に持ち帰り、枯れていく様子を観察しましょう。
【異年齢への対応】 年少：くずのつるを使い、引っ張り合い、飛ぶ、電車ごっこ、へび遊び等をしてみましょう。 年中：袋に入れたくずをさわったり、においをかいたりしてみましょう。 ：つるをしっぽに見立てたしっぽ取り、電車ごっこやヒーロー遊びをしましょう。 ：つるとつるを結んで長いくずを作りましょう。 ：ふだんしている遊びをくずでやってみましょう。		
【園や家庭に帰ってから】 くずのつるを使ってリースを作りましょう。 くずのレシピを作って保護者の方に知らせ、家庭で作りましょう。 家の近くでくずを見つけに行きましょう。 くずを園に持ち帰り、つるを使って遊んだり、ウサギの餌にしましょう。		
準備物・教材等	中が見えない袋（４枚） 葛湯、コップ	



プログラム名		むしのうんどうかい							
対象年齢		年長（５～６歳）							
ねらい	メッセージ	自然の中には、いろいろな生き物がいることに気づこう！							
	発見・体験 できること	・虫を見つける楽しさを感じる ・遊びを通して虫の生態を知る							
参加者のめやす		幼児 20 人 / 支援者 4 人							
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園		
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時 間		活 動				●配慮・アドバイス アレンジ			
3分		子ども達に活動内容を知らせる				●子ども達が虫に興味を持つようにしましょう。 虫にも命があることを教えましょう。			
1分		4グループに分かれる							
10分		各グループで生き物さがしをする							
		 ここにたくさんいるでー！				●子ども達が捕まえてきた虫は、評価し認めるようにします。 ●虫取りはグループで協力して行うように伝えましょう。 ●生き物には優しく接するように、適切な声掛けが必要です。 虫の嫌いな子には、見るだけなら可能なのか、個々の子どもに対応しましょう。			
3分		みんなで見つけてきた生き物を観察する							
						●手で虫を触れない子に対しては、捕まえた虫を見たり、飼育ケースを持ったりして活動が楽しめるようにしましょう。			

時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
3分	グループで話し合って、飛ぶ虫、飛ばない虫を選出する 	●グループの話し合いの中で子どもの気づきに耳を傾けながら、一人ひとりの思いを引き出せるように言葉掛けをしましょう。
10分	それぞれが選んだ、飛ぶ虫、飛ばない虫を紙の上で競争させ、運動会をする 	●虫の飛び方や動いているところをよく見るよう声かけが必要です。 最後に、虫に関する絵本をゆっくり読んであげると、子どもの虫に関する知識がさらに深まるでしょう。 
【異年齢への対応】 年少：虫を集めるときには、支援者がより多くの声かけをする必要があります。 ：虫の動く様子を見て、なりきり遊びをすることができます。 年中：捕まえた虫を放して、それを追いかけることもできます。 ：虫を手で捕まえることが難しい子どもには、網や帽子で捕まえられることを教えます。 ：虫を種類別にかごに入れていろいろな角度から観察すると、体の細部まで見ることができます。		
【園や家庭に帰ってから】 別の場所に出かけて虫取りをしましょう。 園で実施した虫取りの様子を掲示して、保護者に知らせましょう。 虫を園まで持ち帰り、図鑑で調べたり、飼育しましょう。 運動会で、虫になりきる“なりきり競争”(障害物競走のように)をしましょう。バッタゾーン、ダンゴムシゾーン等を設けるといいでしょう。		
準備物・教材等	・ 飼育ケース 4つ ・ 白い紙	



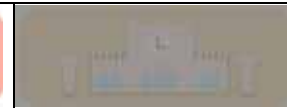
プログラム名		虫さんのステキなお家をつくろう							
対象年齢		年長（５～６歳）							
ねらい	メッセージ	野原にはいろいろな虫がいて、それぞれの住み家で暮らしていることに気づこう							
	発見・体験 できること	・いろいろな虫が、その特徴に合った場所で生息していることに気づく ・植物などの自然物は、ふかふか、ざらざら等いろいろな感触を持っていることを知る							
参加者のめやす		幼児 ２０ 人 / 支援者 ４ 人							
実施時間		３０分							
フィールド									
	森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園			
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
									
時 間	活 動				●配慮・アドバイス アレンジ				
５分	今日の遊びについて話を聞く				●野原にあるいろいろな植物を使うように助言しましょう。 ●イメージしやすいように、自分達の生活や家を思い出せるような声かけをしましょう。				
１０分	虫のお家をつくる				●いろいろな自然物の特性を活かして、家や食べ物をつくっている様子を認めましょう。				
									
		今回はプラスチックのパン箱の上に新聞紙を敷き、その上で作りました				●自分達の快適なお家をイメージし、その発展として虫が快適と感ずるお家を作りましょう。			

時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
5 分	でき上がったお家についてグループごとに発表する  インタビューのように聞いていきます	- 虫が気持ちよく暮らせるように住み家がつくれたことを認めましょう。 - 工夫したり、想像してつくったところを聞き出し、共感しながら話を聞きましょう。 何かをマイクに見立ててインタビューをするなど、工夫をして話を引き出します。
7 分	でき上がった家を、虫の住みやすい場所に置きに行く 	木陰がいいのか、草原がいいのか考えながら、見つけた虫がいたような環境に置く必要があります。 パン箱を使わずに自然物だけでお家を作ると、置いたお家を残しておくことができ、継続した観察ができます。
3 分	今日の遊びを振り返る 	小さな生き物も自分達と同じように生命があり、生活していることを知らせましょう。
【異年齢への対応】 年少：子ども達が虫になりきるような、なりきり遊びをするとおもしろいでしょう。 ：虫の暮らしている場所を全員で見に行きましょう。 ：虫が住んでいる家はどこにあるか、みんなで考えましょう 年中：箱を小さくし、部屋に必要なものを提示してそれになりうるものを探してくるような家作りなら可能でしょう。		
【園や家庭に帰ってから】 自宅近くで、虫にとって住みやすい環境を探してみましょう。 虫にとって快適な環境を作るために何ができるか、家庭で考えて実践しましょう。 園の中で、紙や積み木を使って家を作ります。その中で虫になったつもりでなりきり遊びをしましょう。		
準備物・教材等	- 虫ケース 4 個 - 移植ごて（スコップ） 8 ～ 1 0 本 - パン箱 4 個 * グループがわかるように一つ一つにマークをつけておく（れもん、あおりんご、ばなな、さくらんぼ）	

プログラム名		勝って 集めて ハッピー						
対象年齢		年長（５～６歳）						
ねらい	メッセージ	葉っぱ、木の実、枝であそんで、命のつながりを感じよう						
	発見・体験できること	・自然のものでも、じゃんけんあそびが出来る事に気づき、友だちと一緒にゲームをしたり、作ったりしてあそぶ楽しさ						
参加者のめやす		幼児 ３０人 / 支援者 ４人						
実施時間		３０分						
フィールド		   						
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期								
自然を感じるためのヒント								
時 間		活 動			●配慮・アドバイス アレンジ			
1分		スタッフの紹介			●2列で並んで、2チームに分けましょう。			
5分		葉っぱ・木の実・枝それぞれ1つずつ集める 			●出来るだけ早く1人3種類を1つずつ集めましょう。 ・合図があるまでにたくさん見つけられれば、友だちにあげても良いでしょう、 ・大きな枝は手のひらくらいの大きさにして持たせましょう。 ●様子を見て、適当な時間に合図をしましょう。			
5分		じゃんけんの説明をして、じゃんけんあそびをする			●木の実（グー）、枝（チョキ）、葉っぱ（パー）であることを説明して「わかったかどうか？」子どもたちに声かけをして聞いてみましょう。 ●支援者同士でじゃんけんをして、自然物のグー・チョキ・パーの見本を見せると良いでしょう。			
5分		グループ対抗じゃんけんゲームをする 			●ルールを説明しましょう。 <じゃんけんゲームのルール> ・じゃんけんに勝ったら相手の物（自然物）をもらい、自分の陣地のお皿に入れましょう。 ・負けたら出した物を相手に渡しましょう。 ・残った物が無くなるまでじゃんけんをしましょう。 ・手持ちの物が無くなれば自分の陣地に帰りましょう。			

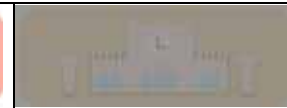
時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
10分	 自然物でケーキをつくる  	●ゲームの始めと終わりには合図をしましょう。 ●合図が終わったら自分の陣地に戻るように知らせましょう。 ●ゲームのルールがわからない子どもには、個別に支援者が援助すると良いでしょう。 ●陣地に戻ったら、それぞれのお皿に入っている自然物の数を数えさせて、チームごとに結果を発表させましょう。 ●勝ったチームは勝利を喜び、負けたチームも相手チームの頑張りを認めて拍手でたたえましょう。
4分	ふりかえり	●ゲームで使った自然物でケーキ（土台：砂）を作る事を知らせましょう。 ●足りない自然物の材料は、園庭の中から見つけも良い事を知らせておきましょう。 ●終わりの合図までに作れるように声掛けをしておく良いでしょう。 ●他のグループとケーキを見せ合い、頑張りをたたえ支援者にも評価してもらいましょう。 ●今月生まれの友だちがいないか聞いてみましょう。 ●今月生まれの友だちにハッピーバースディを歌いハッピーな気持ちになれるように合唱しましょう。
【異年齢への対応】 年少：「じゃんけん」は難しいので、各々でカップに砂を入れたものや紙粘土などに自然物を飾りつけるケーキづくりをしてみましょう。 年中：「じゃんけん」に「からだじゃんけん」と「自然物を使ったじゃんけん」を取り入れて、支援者も一緒にしてみましょう。		
【園や家庭に帰ってから】 園では、自然物を使ったケーキなどで「お店ごっこ遊び」につなげてみましょう。 家庭で自然物などを集めて大切さを知り、自然に目を向けさせてみましょう。 園で自然物のケーキをつくるだけでなく、家庭でも本物のケーキづくりをしてみましょう。		
準備物・教材等	・カラー帽子（人数分） ・材料をのせる容器（6つ） ・ケーキの土台（2つ） ・バケツに入れた砂（2つ） ・笛	



プログラム名		秋をさがそう！						
対象年齢		年長（５～６歳）						
ねらい	メッセージ	感性をとぎすませる						
	発見・体験できること	・身近な秋の自然に気づく ・秋の自然物を触ったり、においをかく ・グループの友だちと相談して遊びをすすめる楽しさを知る						
参加者のめやす		幼児　　３０　　人　　/　　支援者　　５　　人						
実施時間		３０　分						
フィールド		   						
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期								
自然を感じるためのヒント								
時 間		活 動			●配慮・アドバイス　　アレンジ			
５分		支援者からルールの説明を聞く 			●ルールの説明をしましょう。 <秋さがしのルール> ・必ずグループのお友達と行動しましょう。 （一人で行かない、グループで相談しよう） ・一つずつ集めましょう。			
５分		グループに分かれて秋さがしをする			●グループにそれぞれ支援者がつくのではなく、近くで見守り、必要があればヒントなどを伝えましょう。			
１０分		見つけたら、カードの項目に合わせて自然物を置いて、カードに印をつけてもらう 			●支援者一人は、カードの前に必ずいるようにして子どもたちが見つけてきたものを確認しましょう。 ●子どもの発見や驚きに共感して、認めたりしましょう。 			
		・グループ内だけでなく、他のグループと自然物がどこにあったかを教え合ったりする			●危険な場所に近づくことや、危ないことがないように見守りましょう。 ●子どもの様子を見ながら時間を決めるようにすると良いでしょう。			

時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
5 分	全員が集まり、自分のグループの場所に座る 	
5 分	グループごとにいくつ自然物が見つかったかを確認する	● 見つけた自然物の数を子どもと一緒に確認しましょう。 ● 子どもたちに「頑張ったこと」や「大変だったこと」を聞いて、「認める場」を持つと良いでしょう。 ● 子どもの発見や疑問に思ったことを一緒に考えて、共感をしましょう。 「秋って冬を迎える前の大切な冬ごもりの準備の季節だね」
【異年齢への対応】 年少：探す自然物を 6 個に減らして、グループで探してみましょう。 年中：探す自然物を 6 個に減らして、縮小コピーにしたものを子どもたちに一人一枚ずつ持たせてグループで一緒に探してみましょう。		
【園や家庭に帰ってから】 年長と年中と一緒に探したり、年長がカードを作ってみるのも良いでしょう。 園で探した自然物で、クラフトづくりをしてみましょう。 園でつくったものを持ち帰って、家庭で一緒に遊びましょう。 公園などで今日のカードを使って、親子で一緒に挑戦してみましょう。 家庭にある物でビンゴカードをつくり、親子で遊びましょう。		
準備物・教材等	・ 6 色のうで輪（チーム分け用） ・ 画板 6 枚（カードの下敷き用） ・ 6 色のカード（16 個の自然物を描いた色紙） ・ セロテープ ・ 笛 ・ ペン	



プログラム名		モリモリ森のうんどうかい						
対象年齢		年長（５～６歳）						
ねらい	メッセージ	自然の中には、色々な感触があることに気づこう						
	発見・体験できること	・自然物に触れる感触を味わう ・自然の中には色々な形があることに気づく ・どこに何が落ちているか、どんなものが生まれているか知る・見つける						
参加者のめやす		幼児　　３０　　人　　/　　支援者　　５　　人						
実施時間		３０　分						
フィールド		   						
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期								
自然を感じるためのヒント								
時 間		活 動			●配慮・アドバイス　　アレンジ			
５分		グループに分かれる（６グループ）			●自然物で玉入れをすることを説明しましょう。 ●自分たちのグループの色と玉を入れる同じ色のペットボトル（ペットボトルの底にグループ色の色紙を貼る）を、見本を見せて確認させましょう。			
１０分		玉入れの玉（自然物）を集めに行く ・木の実、葉っぱ、木の枝などの自然物 拾ってきた玉（自然物）を入れ物に投げ入れる ・円（なわとびで作る）の外から、真ん中のペットボトルに玉を投げ入れる 玉（自然物）の数を数える ・玉の数が多いチームが勝ち			●子どもたちの様子を見ながら、危険がないか配慮しましょう。 ●様子を見ながら、２分ぐらいで時間を切って見ましょう。 ●中身の玉（自然物）の数をみんなで数えましょう。 ●どの玉（自然物）が入りやすかったか、どの玉（自然物）が入りにくかったかを話し合うと良いでしょう。 ●子どもたちの気づきに共感しましょう。			
								
		２回目 ・玉（自然物）をとりに行き、玉入れをする			●みんなと違う玉（自然物）があったら、みんなの前で知らせると良いでしょう。 ●玉入れの結果を知らせ、１番になったグループを拍手してたたえあいましょう。			

時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
10分	リレーをする ・6グループ対抗で走る ・途中の指定した場所でくじを引く(くじ引きの色でタッチする木の色を決める) くじを引いた色と同じ色が貼られた木にタッチしに行く (3種類の木)  次に走る友だちにバトンをわたす。 ・木の枝のバトンをもらって走る くす玉(自然物を入れる)割り 	●リレーの説明をして、木の枝のバトンを渡しましょう。 ●バトンの枝を持って走るときは、危ないので気をつけるように話をしましょう。 ●支援者が見本を見せると良いでしょう。  ●木にくじの色(赤・青・黄)と同じ色の紙を貼り、タッチする木をわかりやすくしておきましょう。 ●3種類の木は、特徴の違う木にすると良いでしょう。(種類、大きさ、距離など) ●くじ引きやタッチする木のそばにいて、子どもたちの様子を見守り援助しましょう。 ●事前にチームの人数をそろえておきましょう。 ●アンカーをわかりやすくするために、帽子の色を一色にそろえておくとう良いでしょう。 リレーに玉入れを組み込んでも良いでしょう。 借り物競走のような遊びにもできるでしょう。
5分	全体で話を聞く	●子どもたちが感じた事や思った事を話し合っ「ふりかえり」をすると良いでしょう。
【異年齢への対応】 年少：個人で一線上からの的を大きくして玉入れをしてみましょう。(的までの距離50cm位) ：集める玉(自然物)を指定して探してもらい、玉入れをしてみましょう。 ：木にタッチするだけの「かけっこ」にしてみるのも良いでしょう。 ：年少・年中・年長のグループでは、役割分担を決めて玉入れなどをしてみましょう。 年中：玉になる自然物の例を示して探してもらい、玉入れをしてみましょう。 ：チーム数を減らして、バトン「木の枝」から安全な「輪っか」にして行ってみましょう。 【園や家庭に帰ってから】 家の近くで玉になる自然物を探して園に持ってきて玉入れをしてみましょう。 自然の無い所でも、玉入れなどの準備をして遊ぶと良いでしょう。 家庭に帰っても色々な自然物などに触らせて、同じ物でも違いがあることに気づかせましょう。		
準備物・教材等	・ペットボトル6本(底にグループ色の色紙を貼る) ・なわとび(玉入れの円を描くときに使用)18本 ・枝のバトン(6本) ・くじ引き(赤・青・黄のくじを作る) ・ゲームボックス(くじ引きの台)3台	



平成21年度までプログラム作成協力園等一覧

新石山寺保育園, 伊香立保育園, 仰木の里東幼稚園, 逢坂保育園, 唐崎幼稚園, 唐崎保育園, 風の子保育園, 天神山保育園, 志賀南幼稚園, 志賀北幼稚園, 晴嵐保育園, 膳所保育園, 聖パウロ幼稚園, 正休保育園, 大平保育園, 堅田保育園, たんぽぽ保育園, 南郷保育園, におの浜保育園, ひえい平保育園, 比良保育園, 浜大津保育園, 真野保育園, 和邇保育園, 保育の家しょうなん, 平野幼稚園, 真愛保育園, 伊香立児童館, 保育課, 環境課(大津市), 亀山保育園, 神田幼稚園, 城南保育園, 旭森保育園, めぐみ保育園, 多景保育園, 鳥居本保育園, ふたば保育園, みづほ保育園, どんぐり保育園, 森の子保育園(彦根市), びわ保育園, びわ北幼稚園, 浅井保育園, 長浜愛児園, 東保育園, 南保育園, 北保育園, 大谷保育園, 北郷里幼稚園, さくらんぼ保育園(長浜市), あおば乳児保育所, 金田西保育園, 桐原保育所, 島幼稚園, 八王子保育園, メリー保育園(近江八幡市), 第二保育所, 第三保育所, 第五保育所, 第六保育所, 老上幼稚園, 笠縫東幼稚園, 草津カトリック幼稚園, さくら坂保育園, 志津幼稚園, すぎのこ保育園, ののみち保育園, みのり保育園, 山田幼稚園(草津市), 玉津幼稚園, 古高保育園, 吉身保育園, 吉身幼稚園, カナリヤ第二保育園, 速野カナリヤ保育園, 物部幼稚園, 若鮎保育園(守山市), 大橋保育園, こだまふれんど保育園, 金勝第1幼稚園, 金勝第2保育園, 大宝幼稚園, 葉山幼稚園, 葉山東幼稚園, 治田保育園, 治田東幼稚園, 栗東自然観察の森(栗東市), 鮎河保育園, 岩上保育園, 大野保育園, 大原幼稚園, 柏木保育園, 貴生川保育園, 雲井保育園, 甲賀北保育園, 甲賀西保育園, 甲南北保育園, 甲南希望ヶ丘保育園, 甲南東保育園, 甲南南保育園, 信楽保育園, 土山保育園, 伴谷保育園, 水口北保育園, 水口西保育園, 水口東保育園, 明照保育園, みなくち子どもの森自然館(甲賀市), 第一保育園, 第三保育園, 祇王名照保育園, 篠原保育園, 中主幼稚園(野洲市), 菩提寺保育園, 三雲保育園(湖南市), 愛隣保育園, 安曇川はこぶね保育園, くすのき保育園, 朽木保育園, 古賀保育園, さくら園, 静里なのはな園, しろふじ保育園, 高島保育園, なないろ保育園, 藤波幼稚園, マキノ西保育園, マキノ東保育園, 朽木いきものふれあいの里, 吹田市立少年自然の家(高島市), 市原幼稚園, 沖野幼稚園, かえで保育園, 蒲生幼稚園, 五個荘北幼稚園, 五個荘東幼稚園, 湖東第一幼稚園, 玉尾幼稚園, つつじ保育園, 八日市寺幼稚園, 平田幼稚園, 中野幼稚園, 長峰幼稚園, 能登川第二幼稚園, 能登川保育所ひばり園, ふたば保育園, もみじ保育園(東近江市), 近江ひがし保育園, 柏原保育園, 米原保育園, 米原中保育園, 米原西保育園, 息郷保育園, いぶき幼稚園, 醒井幼稚園, ふたば幼稚園, 山東幼稚園, 醒井保育園, 長岡保育園(米原市), 安土保育園, 老蘇幼稚園(安土町), 保育所さくら園, 同あおぞら園, 同こばと園, 桜谷幼稚園, 桜谷幼稚園西分園, 西大路幼稚園, 必佐幼稚園, 西大路小学校(日野町), 竜王幼稚園, 西幼稚園(竜王町), 愛知川保育園, 秦川保育園, ゆたか保育園, 秦荘幼稚園(愛荘町), 甲良西保育センター, 甲良東保育センター, 甲良第二保育所(甲良町), 多賀幼稚園, 多賀ささゆり保育園, 萱原保育所, たきのみや保育園, 子育て支援センター(多賀町), とらひめ幼稚園, 虎姫保育所(虎姫町), 小谷保育園, 速水幼稚園(湖北町), 高月幼稚園, 高月保育園(高月町), 木之元保育園(木之本町), よご幼稚園(余呉町), 幼稚園きらら(西浅井町), 滋賀大学, 滋賀女子短期大学, 環境カウンセラー, 環境学習支援士, 滋賀県こども・青少年室

順不同・所在市町名は実施時で表示